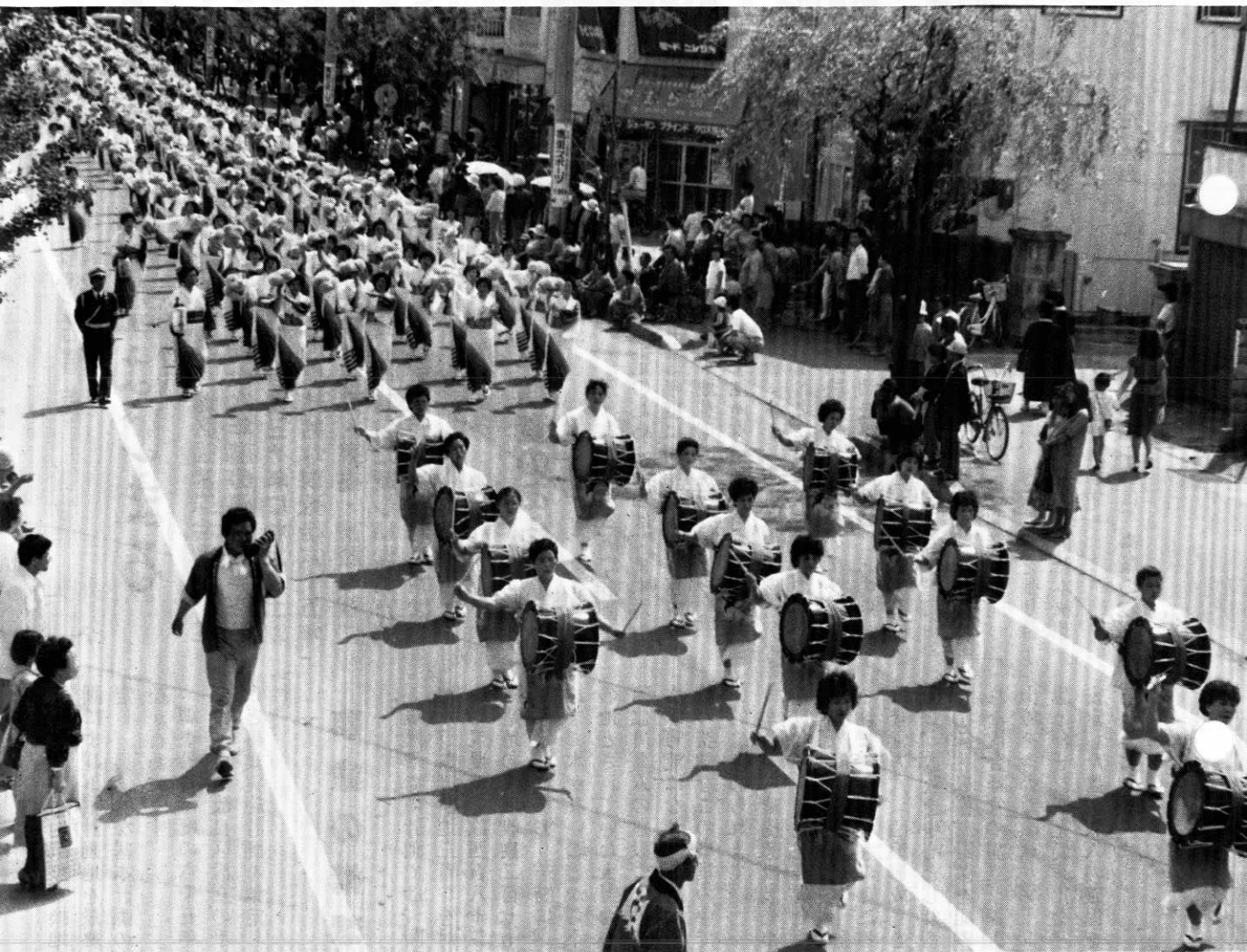




大太鼓の里めざして

おまつりムードも最高潮

3回目を迎え、ふるさとのイベントとして定着した「ふるさと踊りと餅っこ祭り」が、5月31日開催されました。餅っこ祭りや太鼓フェスティバルでおまつりムードも最高潮に達した午後1時から、世界一大太鼓やシンボルの大八車を先頭に、婦人団体900余人の鷹巣音頭が優雅に披露され、沿道を埋めつくした1万3千人を越す観衆を魅了しました。（関連記事は4、5面）

人口と世帯数

（住民基本台帳による）

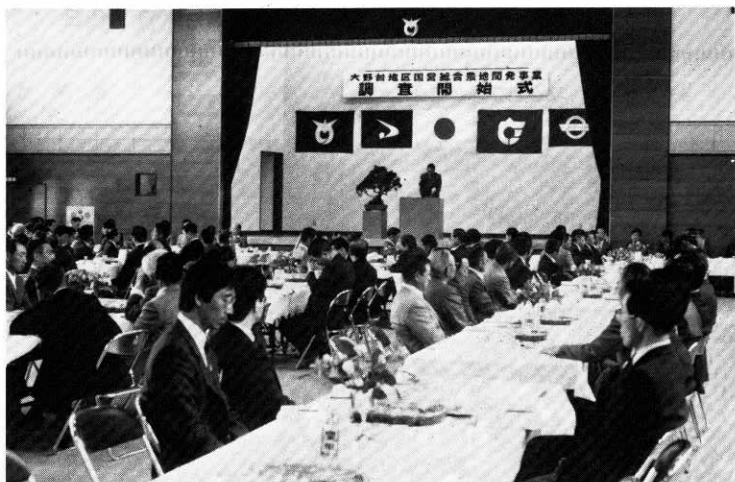
5月31日現在		（前月比）
総人口	26,688人	（4人増）
出生	19人	転入 60人
死亡	10人	転出 65人
男	11,986人	（2人増）
女	12,702人	（2人増）
世帯数	7,319世帯	（16世帯増）

豊かな農村づくりをめざして

大野台国営総合農地開発事業

九百ヘクタルの調査はじまる

鷹巣、森吉、合川の三町にまたがる大野台地区国営総合農地開発事業の調査開始式が五月二十日行われ、六十六年度の事業着手をめざした調査がいよいよスタートしました。今後三カ年にわたり土地利用の現状や用排水、受益農家についての具体的な調査後六十五年度には、事業の実施計画が策定されます。野菜・果樹・畜産を核にした複合経営、団地化の促進と観光農業を加味した新しい営農方式の確立など、若い農業の担い手に希望を与える大野台農地開発は、大きな期待が寄せられています。



調査のあらまし

三カ年にわたる実施計画策定のための調査は、まず六十二年度に開発予定地九百ヘクタルの土地利用の現状と原図の作成、土地所有形態と権利関係の調査。また、用排水の現況と気象および消費水量などの基礎試験。受益農家へのアンケート調査や営農類型ごとの経営実態調査などが行われ、計画地の概要を決定します。

六十三年度には、受益者の意向を調整し、開発の方向づけを行い、導入作目を張り付けたうえで、営農の基本構想が策定されます。

六十四年度は、事業の本同

意を取り、用地調整と換地計画により事業計画地を最終決定し、具体的な基本計画の調整が行われます。

調査最終年度の六十五年度には、土地改良区設立の手続きと事業実施計画を策定します。

事業の構想

現段階での計画では、開発地六百ヘクタルの既墾地三百ヘクタルを対象に新規農地造成四百八十ヘクタル、既墾地の土地改良二百七十ヘクタルが予定されており、特に、これまで水がないことから不毛の地とされていた大野台が、阿仁川ダムの建設によって取水が可能になり、農業用水施設の整備もこの事業の中で一体的に進められます。

また、営農構想は調査事業委員会や営農流通委員会、受益者などの意向を調整し決定されますが、現在のところ農場経営方式（団地形成）を採用し、放牧を中心とした畜産を核に、果樹、野菜を組み入れた複合経営の樹立。森吉山麓を含めた広域リゾート構想と合せた観光農業化などで、安定した農業収入の確保を図ることにしています。

事業への参加手続

事業への参加（受益者となる）は、予定受益者の事業実施同意書によって意思表示していただきます。

参加形態は、土地所有者本人が参加することのほか、土地所有者から土地を購入したり、土地を借入したり、秋田県農地管理公社が中に入り参加することもできます。公社を利用する場合は、売手にとって譲渡所得税などが軽減されるほか、農地法の許可や登記などの一切を公社がやってくれるなどの利点があります。

受益者負担と融資制度

大野台地区の農地開発は、規模が大きく国営総合農地開発事業で実施され、高率の補助（七二・五―八七・五割）が受けられます。

また、受益者の負担については融資制度があり、全体事業完了年度の翌年度から二、三年の据置後、一五―一七年償還となります。

町社会福祉協議会の決算

剰余金は二六五万円

社会福祉法人鷹巣町社会福祉協議会では、五月二十六日に理事会と評議員会を開催し、六十一年度の収支決算を次のとおり承認していただきましたので報告いたします。町民のみさんから、たくさんのご芳志や善意をお寄せいただき厚くお礼申しあげます。

昭和六十一年度の社会福祉協議会の収入総額は、五千二百五十八万六千四百四十五円、

支出総額は、四千九百九十三万五千八百四十七円で、差し引き二百六十五万二千九十八円の剰余金があり、翌年度へ繰越されました。

(収入)

▽会費 三十三万四千五百円
普通(五百円×一五三人)、賛助(二千元×一四四人)
▽共同募金配分金 六万五千一百四十三円二十八円(共同募金、在宅福祉サービス事業、歳末たすけあい、NHK歳末たすけあいの配分金)
▽補助金 千三百二十五万七千八百十円(町九万四千三百円、県社協三万四千八百八十円)
▽委託金 二千四百一十一万三千円(家庭奉仕員、児童館厚生員、入浴車の委託料)
▽寄付金 四百二十七万五千七百十二円(一般寄付五九万

三千一百七十二円、香典返寄付金二六万五千円、ボランティア基金寄付金二百七千五百四十円)

▽財産収入 二十五万三千五百円(基本財産預金利子)

▽繰越金 二百七十四万二千七百七十円

▽諸収入 七十五万二千二百一十二円(預金利子、雑収入)

(支出)

▽会議費 十六万四千九百九十四円(評議員・理事会の手当、旅費など)

▽職員費 千三百九十七万三千九百八十五円

▽事務費 六十九万七千九百八十八円

▽事業費 八百九十八万八千三百五十四円(福祉教育やボランティアの助成および研修、職員の研修、県社会福祉大会、団体助成費、歳末援護費、ボランティア事業など)

▽町委託事業費 二千四百一十二万六千八百二十円(家庭奉仕員五人、入浴車活動費、児童館厚生員四人の給料、旅費、需用費ほか)

▽諸支出金 百八十二万三千四十円(ボランティア基金・運用基金の積立、郡・県社協会費、心配ごと相談所繰出ほか)

■16日(土) 南中学校体育大会。新装なった三百メートルトラックで、競技種目が効率的に展開された。この日、鷹巣阿仁青年会議所創立総会の記念式典が開催され、出席して祝辞を述べた。

■19日(火) 町内小学校交歓陸上競技大会が行われた。

■20日(水) 町の国営総合農地開発事業促進協議会が開かれ、午後からは大野台地区国営総合農地開発事業

ど役員人事と各委員会の所属が決定された。

■26日(火) 「県民防災の日」の訓練として、町内の職場などで避難訓練が行われた。気象の予報などは計器類の進歩で、確率が高まったが、地震や火山爆発などは、まだその予知は極めて困難であり、普段の備えと発生時における対応は常に必要なものである。

社会福祉協議会理事会、



町長日誌

出川 禮一

5月16日～31日

の開始式が催された。

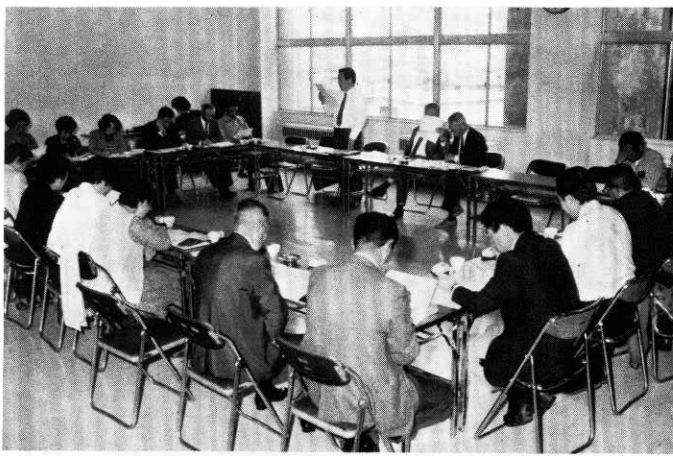
評議員会も開かれた。

■23日(土) 森吉山観光開発株式会社株主総会が森吉山荘で開かれ出席した。往路鷹森林道(上舟木から森吉集落)を久しぶりに通ったが、今後阿仁川ダムなどの関連で、この道路の重要性が増えるものと察した。

■24日(日) 秋田市において、県陸上競技協会の理事会があり出席した。

■25日(月) 秋田県町村会臨時総会が開かれ、会長な

■31日(日) 「ふるさと踊りと餅つき祭り」は、町の婦人団体の主唱で盛大に開催された。約千人が参加した踊りは、町の目抜き通りを、時ならぬ揃いのユカタ姿で埋めつくし、延々一時間半におよび、動く花模様的一大パノラマが展開された。圧巻であった。もつと多くの町外の方がたにも見てもらわないと、もったいないような気がしてならない。



餅つこ祭り

活力がこむに

こととして三回目を迎えた「ふるさと踊りと餅つこ祭り」が五月三十一日(日)初夏の日差しを浴び、汗ばむ陽気の中で開催され、これまで最高の一万三千人の人出で賑わいました。

午前九時からのオープニングセレモニーに続いて児童公園では餅つこ祭りが行われ、町内農協婦人部や菓子組合などでつくった各種の餅が一時間で売り切れる程の盛況でした。

一方、役場前では二回にわたって太鼓フェスティバルが行わ



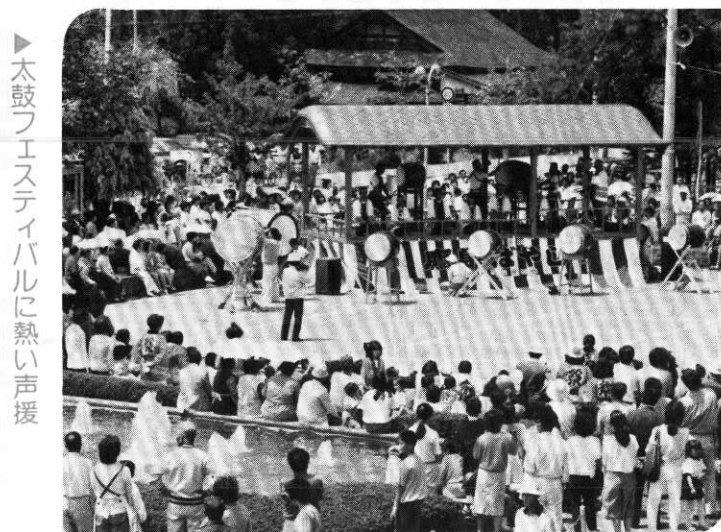
▲ヨイショ / ヨイショ / ああ重たいなあ



披露



◀餅つこ市はあつという間に売り切れ



▶太鼓フェスティバルに熱い声援

ふるさと踊りと

ふるさと



▲シンボルの大八車からは餅が振舞われました



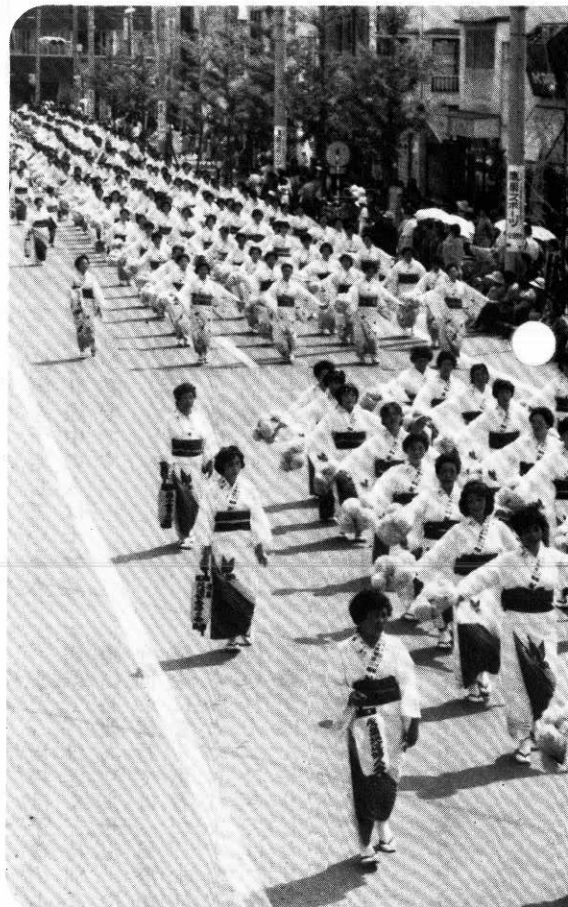
▲世界一大太鼓は子供会と中国からの留学生で引っ張りました



▲鷹巣音頭にあわせた太鼓踊りが大好評

れ、太鼓の里にふさわしく婦団連太鼓、吉野和太鼓が初登場し、世界一の綴子太鼓、鷹巣はやしが競演、「鷹の舞」の披露もあり盛んな拍手が送られていました。

午後一時からはふるさと踊りがはじまり、婦人団体連絡協議会の会員約九百人が太鼓踊りを先頭に町内の目抜き通りを練り歩き、沿道いつぱいの観衆から熱い視線を浴びていました。



▲900人の踊り手があでやかに 鷹巣音頭を

国民年金

こんな場合は 手続きと相談を

国民年金は、厚生年金や共済年金などの年金に加入していない方がたのための年金ですが、他の年金に加入したり、保険料の納付が困難になったときは、速やかに手続きをしていただきますと後でめんどろな手続きや、時効が成立し、せっかく納付したくても出来ない場合があります。次のような場合は手続きとご相談を（詳しいことは役場町民課年金係までお問い合わせください）

厚生年金などに 加入したとき

現在会社等に勤務して、勤務先で厚生年金・共済年金等を掛けている場合は、切替えの手続きが必要です。ごめんどろでも、年金手帳、健康保険証・印かんをご持参のうえおいでください。

サラリーマンの妻で

扶養家族となったとき

厚生年金・共済年金等に入っている人の妻で、扶養家族になっている人（夫の健康保険証に名前がある人）は届出をすれば、保険料の納付は必要がありません。

一括納付が困難なとき

過年度分の保険料について

一括納付が困難な場合は、分割納付のご相談に応じます。二年を過ぎると時効が成立し納めたくても納められなくなつてしまいます。

納付免除を 受けたいとき

失業、ケガ、病気などで、保険料の納付が困難になった場合は、納付が免除される制度があります。くわしい事情をお聞きしたうえで免除の申請手続きをしますので、印かんをご持参のうえおいでください。

また、ことしの四月から、一年分の保険料が免除されるには、七月三十一日まで申請することが必要です。

加入者の声

年金制度に期待

住吉町・佐藤マリ子（主婦）

子供が二人いるのですが、二人目が生れたところから将来に対しての不安感が増し、年金というものにいくらか関心を抱くようになりまし。それまでは率直に言つて私も夫もまったく無関心でした。しかし、私の両親が年金を受けて、孫たちにこ

風疹が流行しています

妊娠中の女性は 十分な注意を

■風疹は伝染病です

風疹は、主として幼児、児童に多い発疹性の伝染病ですが、病気そのものはそれほどこわくはありません。風疹は、免疫がなければ成人にも感染します。とくに妊娠初期（四カ月前）の女性がこの病気にかかる

と、先天異常児を生む危険性があります。風疹の流行は、ここしばらく続く見通しですので、過去に感染していない女性で、妊娠を予定している人や現在妊娠中の人は十分な注意が必要です。

■風疹の症状は

風疹に感染すると、二、三週間の潜伏期を経て症状があらわれます。症状の大きな特徴は、発熱と発疹が同時にあらわれることと、後頭部や耳のう

しろのリンパ節がはれることです。熱はあまり高くないことが多いのですが、三十八度をこえる高熱をだすこともあります。

発疹はピンク色のポツポツが約一日で全身に広がり、三日目ぐらいにはあとを残さず消えます。なお、成人の場合は小児より症状が重く、ひざなどの関節痛をとまなうこともあります。

■風疹から脳炎に

罹る場合もある

また、風疹は予後のよい病気で、ほとんど特別な治療は必要ありません。ただ今回の流行では、風疹から脳炎になる患者が、まれながらみとめられますので、けいれん（ひきつけ）や、意識がぼんやりしたりすることがあったら、専門医に診察してもらふことも必要です。

おしらせ

胃 検 診 を
受けましょう

胃集団検診が各地域で実施されます。

忘れずにもよりの場所です、受診してください。

▽6月23日・25日＝今泉（今泉生活改善センター）
▽26日＝前山、黒沢（前山会館）
▽27日＝深閑、相善（坊沢相善会館）
▽30日＝羽立、上町、黒沢（坊沢公民館）

※検診時間は午前五時三十分から七時までです。

※検診料は七百円。国民健康保険加入者は、個人負担を補助しますので、国民健康保険証をお持ちください。

「のど自慢」の
入場には整理券を

秋田内陸線北線開通一周年記念行事として、「あなたのまちのど自慢」の公開録音が六月二十二日午後五時から阿仁町体育館で開催されます。入場には整理券が必要です。希望の方は鷹巣町役場の、希望の方は鷹巣町役場の

企画係へおいでください。先着百人で締切りになります。

税に関する高
校生の作文募集

国税庁では、高校生の皆さんから税に関する作文を募集しています。

テーマは、税についていろいろ考えていることや意見など、税に関するものであれば何でも結構です。

作文は、一人一編、三千字以内で、九月五日まで。

大館市赤館町二の十六、大館税務署（☎〇一八七―四二―〇六七）へ送付してください。

停電のおしらせ

六月の作業停電は次の地区です。

▽18日＝住吉町、花園町の一部地区（午後一時～四時）

小型船舶の
操縦士講習会

阿仁川漁業協同組合では、小型船舶四級操縦士（湖沼）講習会を開催します。

十六歳以上の男女、誰でも受講できますので、お気軽に受けてください。

▽講習及び試験日＝七月中旬（一泊二日）

▽講習料及び試験料＝四万三千元（宿泊費込）

▽人数＝約二十人

▽場所＝森吉町太平湖

▽申込先＝森吉町役場商工観光課内阿仁川漁協（☎〇一八六―七一―三二）内線三五



〔道路維持工事〕

▽工事場所＝鷹巣字掃り道
▽請負額＝百七十六万円
▽請負者＝千葉建設・千葉勲

▽工事期限＝七月六日
▽工事場所＝綴子字古閑
▽請負額＝百八十万円
▽請負者＝伊藤組・伊藤菊男

▽工事期限＝七月六日
▽工事場所＝綴子字岩塚岱
▽請負額＝百三十八万円
▽請負者＝山耕土木・山田耕三

▽工事期限＝六月二十五日
〔道路改良工事〕

▽工事場所＝脇神字上太田表
▽請負額＝七十万円
▽請負者＝長岐建設・長岐六郎

▽工事期限＝七月六日

▽工事期限＝七月六日

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

6月	曜日	医療機関名
16	火	藤原医院
17	水	佐々木産婦人科医院
18	木	戸嶋産婦人科医院
19	金	戸嶋医院
20	土	盛岡医院
21	日	北秋中央病院
22	月	近藤医院
23	火	佐藤外科消化器科医院
24	水	奈良医院
25	木	佐々木産婦人科医院
26	金	藤原医院
27	土	北秋中央病院
28	日	戸嶋医院
29	月	盛岡医院
30	火	戸嶋産婦人科医院

（急患以外は受けません）

緑の大敵アメシロに注意

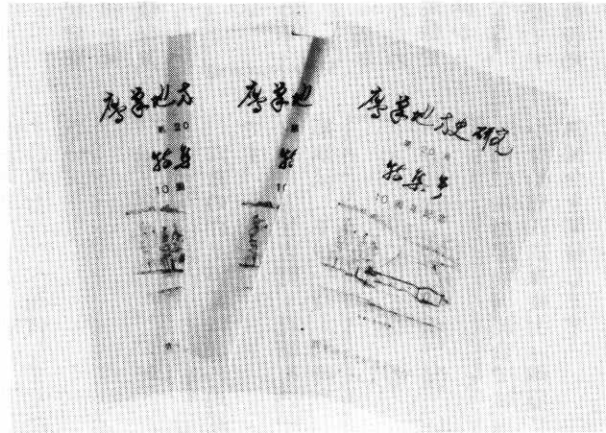
■各地区でアメシロが発生しております。植物の葉を食い荒らし、樹木の成長を防げたり、果実の成熟障害をおこすアメシロを早めに退治しましょう。

■アメシロは一年に二回発生し、食害を与える幼虫は6月と9月に多く発生します。アメシロのついている枝は切りとって踏みつぶすか焼きすることが大切です。

■また、薬剤を散布する場合は町内単位で作業を行ってください。機械は町で借し付けますので、協力員を通して農林課林務係に申し込みください。（土曜日は午前中まで）

会報発刊十周年 記念特集号を発刊

鷹巣地方史研究会



鷹巣地方史研究会（二階堂善三会長）は、このほど会報十周年記念特集号を発刊しました。

同研究会は、昭和三十四年に同好者十数名で史談会を行ったのがきっかけで発足、昭和五十二年秋から「鷹巣地方史研究会々報」を創刊して、こ

として十周年を迎えました。郷土史の研究会として、三十年近く活動し、定期的に会報を発刊している例は少なく、同研究会は内外から高い評価を得ています。

毎年春秋二回の発刊を行って今回が第二十号となった会

報は、記念特集号として編集。百五十人余りの会員をはじめ各方面に頒布され、これまでの研究活動が紹介されています。

表紙を本町の画家九島寮二氏の「早春の米代河畔」で飾った記念特集号は、研究、随想、地方史の手帳、資料などに分かれてはいるほか、第一号から第十九号までの総目録も収録されています。

〔記念特集号の内容〕

- ▽研究の部
「扇田神明社長岡家蔵書目録・解説」「鷹巣開拓者小山縫殿之丞」「宮野（尹賢）家墓地

への考察」「玉井大麟の肖像写真」「九島与治郎先生を偲ぶ」「雪中田植・稲刈り」「鷹巣村出身の海岸防備士について」「ふるさと萱草」「私の疑問（アイヌ語と地名）」「縄文の影」「鷹巣町の囲ノ内地名をさぐる」「中国遺跡一考」

▽随想の部

「鷹巣十二景」「湯ノ岱温泉昔と今」「観音堂岱分教場の四季」「帰省雑感」「ごぼほりびつきの頃」「異郷の友との文通から」「戦争」「花田一司さんを悼む」

▽地方史の手帳の部

「天保大凶作時の綴子地区」「逐電した半左エ門尉」「阿仁街頭（余録・補遺）」「伝説から探る小ヶ田埋没の謎」「鷹巣という地名」

▽資料の部

「大火・地方事務所問題と婦人会」「郷土夜話肉入籠の紹介」「五義民話」
▽鷹巣地方史研究総目録
▽寄贈をうけた方のおたより
▽会員名簿
▽会則

六月は「土砂災害防止月間」地すべり、ガケくずれに注意しましょう。

郷土史年表

西暦	年号	事	項
一九八四	昭和五九	○六月二十七日 定例議会において、助役に三沢宏氏を選任 ○七月十五日 町農業委員会委員選挙 二十人の委員が決定、会長に三沢勇悦氏 ○七月二十七日 南中学校で全校生徒が縄文土器づくりをする ○八月一日 労働金庫鷹巣出張所が開店 ○八月一日 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技の会場となる、各種道府県の代表五十四チームの熱戦の結果、四天王寺高校が九度目の優勝 ○九月十七・二十六日 九月定例議会 教育委員長に辻侑次郎氏 ○十月十五日 鷹巣営林署鷹巣貯木場が高村岱に移転 ○十月二十九日 鷹角線を第三セクタ―で運営するため秋田内陸縦貫鉄道会社を設立 ○広域基幹林道大摩当線開通竣工式 ○大堤・三沢キヨさんが民謡民舞全国大会寿年の部で優勝 ○十一月三日 映画「みちのく子供風土記」南中で運動会風景を撮影、エキストラ千人が参加 ○十一月二十四日 町営薬師山スキー場開設二十周年式典	

（次号に続く）



消費者意識を高めるために

消費者意識を高める週間期間中の5月27日、消費者の会（畠山セツ会長）では総会を開き、自立する消費者として意識を高めようと話し合われました。総会後は大館税務署高橋宏総務課長の「身近な税金」と題した講話があり、税のしくみや節税について熱心にメモを取るなど、賢い消費者イコール賢い納税者ぶりをうかがわせていました。

東小学校（成田正一校長）では5月30日、恒例の学校田植えが行われました。勤労体験学習の一環として「ゆとりの時間」を利用しての作業には、6年生の児童全員が参加し、慣れない手つきながらも1株ずつ丹精を込めて植えていました。田植え後の水管理や苗の育成観察も、指導を受けながら児童たち自身で行うことになっています。

田植え作業で楽しく勤労体験



元五輪選手鎌田さんが講演

南中学校（赤石隆夫校長）で5月25日、モンテリオール五輪1万に出場したカネボウ陸上部ヘッドコーチ鎌田俊明さんが講演しました。鎌田さんは恩師の渡部教頭先生に現役引退のあいさつに訪れたもので、全校生徒を前に「コツコツと毎日練習すること、そして自ら計画を立てて実行すること」など体験談をまじえて話していました。

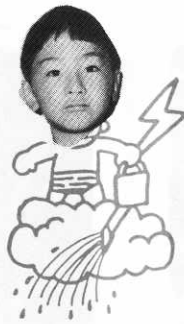


県民防災の日の5月26日、全県一斉の防災訓練が行われ、役場でも来庁者と職員が一体となって避難していました。この日はあいにくの雨、庁舎屋上で救助を求める職員にハシゴ車がけたたましいサイレンとともに駆けつけ、手際よく避難させるなど、4年前の日本海中部地震の教訓を生かした大がかりな訓練でした。

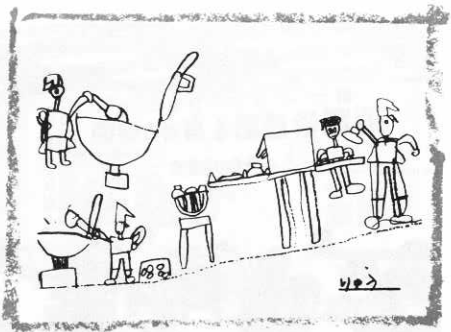
本番さながらに避難訓練



の広場



綴子小学校一年
岩谷 龍くん



りゅう

農繁期を終え、一息ついた時期のこの祭りに第一回から参加させていただいています。日本一を誇る綴子の大太鼓の迫力あるパチさばき、鷹巢ばやし、初披露の婦人連太鼓の勢ぞろい、汗だくになって踊る婦人会の人たちの鷹巢音



新屋敷 佐々木キヨ (61)

楽しかった餅作り

今月のテーマ『ふるさと踊りと餅つこ祭り』

対談 親の意見・子供の意見



センダイハギ

(マメ科)

北地の海岸に生える多年生草本茎の高さ90cm位、花は美しい大形の深黄色をつける。町内でも庭植えのものを見かける。

名前は北地仙台に関係ある千代萩による。

(七日市 畠山 益穂氏)

頭もすばらしいもので、各会の熱のこもった意気込みが感じられました。また、沿道にはお祭りムードを存分に楽しんだお年寄りの笑顔があちこちに見られ、町民のふれあいやあたたかさが感じられました。踊りっこ、餅っこ、歌っこ有りのこの祭りこそ、鷹巢の郷土芸能として定着させ、町の活性化につながるすばらしい行事だと思いました。

餅っこ市では、各農協婦人部の工夫されたいろんな餅つこがあり、私も餅を作る一人として「かあさん、餅っこめ



私の家族は、八人で四世代が同居し、これまで皆健康で暮らしてきました。そして、ことは両親が八十八歳の米寿、私が六十二歳、長男の嫁が三十三歳と一家で四人が年祝いを迎えました。偶然とはいえ、同じ年にこのようなお目出たいことが重なったことを大変うれしく思っています。

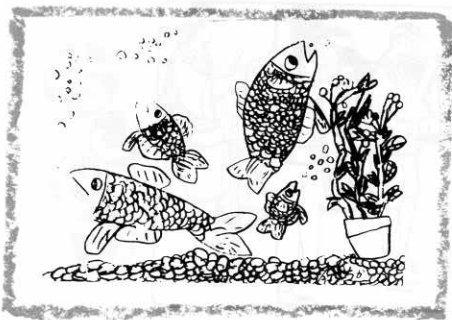
妹尾館 佐藤寅五郎 (62)

四人揃って年祝いを迎えました

わたしの自慢

とくに、私の両親が健在で、揃って米寿を祝うことができたことは、本当に喜びです。よく、「あなたの家は長生きマキだからなあ」と言われますが、父方もほとんどの人が八十歳以上、母方の祖母は百歳まで長生きしました。また、食事のことを考えてみると、両親とも若い頃から山歩きが好きで、自然食品である山菜を多く食べているような気がします。そして現在は曾孫の成長が楽しみな毎日のようです。

私と長男の嫁は年祝いでもありますが、厄年とも言われるので、ことし一年は健康にも十分気をつけて、家族皆んなが健康でいられたらと思っています。



綴子小学校一年
武内 知華子ちゃん



みんな

がったよ」という一言を聞いて、田植えの疲れも忘れて楽しい一日を過ごさせていただきました。

和太鼓保存会



南中3年
春日 伸也

僕たち和太鼓保存会少年の部は、「ふるさと踊り」ともちっこ祭り」の太鼓フェスティバルに参加しました。

少年の部は、高校生一人、中学三年生四人、二年生四人、一年生四人の合計十三人によるメンバーで、三月から始め

広報のこり

父の日

まだ「母の日」

いませんが、この頃見直されてきたのが「父の日」。六月の第三日曜日、二十一日です。長い間働きつづけてきたお父さんは、家庭の幸福の原動力となっているたのもし存在です。

ふだんなんでもないように

週二回練習しています。

五月三・四日に行われた吉野子ども村まつりでも発表しましたが、残念ながら失敗しておりました。「これではいけない」ということで反省会を行い全員が「やる」ということで決意を新たに、もちっこ祭りの為に一生懸命、手にマメを作りながら練習に励みました。

そして、当日天候も良く、せっこうの太鼓日よりでした。午前の部ではみんな緊張したようで、合わない部分が多い気がしました。午後の部は、みんな力を合わせてがんばり、できも良かったと思いました。先生も大変喜んでくれ、みんな満足したようでした。

見える毎日のお勤めも、職場にあればどんな苦労をしているのかわかりません。そういう見えない苦労を、お父さんの側からいえば、見せたくない苦労を、わかってもらえる日としてぜひ定着させたいものです。

いつまでも希望と喜びをもちつづけられるように、お家の方がたは率直に感謝の心づかいを表して差しあげましょ

写真は、昭和30年頃の大田交差点付近。当時は地方事務所（現総合庁舎）郵便局をはじめ商店が立ち並び賑やかな通りでしたが、行き交う人に比べ車はほとんど皆無。しかし、現在は国道105号線として町へ出入りする車など交通量の最も多い道路に変わりました。

（写真提供・福原 剛氏）



たかのすの昔

おひき



一 櫻美術会運営委員 九島繁二氏

六月の健康相談

六月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十四日です。時間は午前十時から午後三時まで、血圧測定のほか尿検査体重測定など行います。

また、腎臓病の慢性病予防教室で、日常生活の指導。受付時間は午後一時です。

◇

◇

リハビリ学級は十七日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。

時間は午前十時から午後三時までです。
※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

◇

四カ月児健康診査は二十三日です。

対象は六十二年二月生まれのお子さんです。

小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。

受付時間は午後零時四十分から午後一時まで。

◇

離乳食指導と七カ月児健康相談は二十三日です。

対象は六十一年十一月生まれのお子さんです。

受付時間は、午前九時三十分から十時まで。おいでの時は母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

ついでで受診できない場合は次回に受診してください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳交付、第一回妊婦教室などの日程は次のとおりです。必ずご本人がおいでください。

▽日程 六月十五日

▽受付時間 午後一時から一時三十分(終了時間三時)

▽妊婦教室内容 妊婦中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写など

▽持参品 印鑑

▽場所 中央公民館保健相談室

麻疹(はしか)の予防接種

麻疹(はしか)の予防接種

麻疹(はしか)の予防接種を六月三十日から七月三日まで行います。

対象者は六十二年六月三十日現在で、生後十八カ月から三十六カ月になる幼児(ただし生後十二カ月から七十二カ月に至る幼児も受けられます)です。

接種時に必要な接種券の交付は22日・23日の二日間、中央公民館保健相談室で交付します。

時間は午前九時から午後三時まで、母子健康手帳を持参してください。

接種日程、担当病(医)院は次のとおりです。

▽30日 藤原医院

▽7月1日 奈良良医院

▽2日 北秋中央病院

▽3日 戸嶋内科医院

接種時間は午後一時から二時

時までです。

厄年検診

四十二歳の厄年の方を対象に、胃検診、循環器検診、肺癌検診を行います。

▽日時 六月二十四日・午前六時から受付。

▽場所 中央公民館ホール

※問い合わせは役場衛生係(六二一一二・内線一三四)

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽摩当 松岡福治郎さんから亡妻トミエさんの香典返し

▽大町 浅利照さんから亡夫松吉さんの香典返し

慶弔だより

5月16日～5月31日

誕生おめでとうございます

佐藤 司(利隆 長男)深沢

奈良田結佳(亥甲吉長女)甲子ヶ沢

町民税の納期限は

六月三十日です

西根恵美子(久 長女)あけぼの

成田さつき(直人 二女)元町

畠山みどり(晴夫 二女)高村岱

斎藤 卓也(明宏 二男)田子ヶ沢

佐藤麻樹子(文廣 長女)新屋敷

二人の前途を祝福いたします

佐藤 智 四渡

三浦 智 大館市

小笠原 康博 綴子大畑

工藤 八千代 二ツ井町

山田 幸市 明利又

明石 睦子 比内町

北嶋 正人 あけぼの

柴崎 洋子 舟場

千葉 靖 中屋敷

金澤 富士子 掛泥

佐々木 享 材木町

加藤 由実子 能代市

畠山 正志 合川町

澤田 真由美 前野

藤原 勝廣 下舟木

ジテイアテンス、バイエルネス、フイリピン

おくやみ申しあげます

松岡トミエ(67歳)摩当

碓谷 千エ(84歳)摩当

伊藤新一郎(64歳)東横町

浅利 松吉(58歳)大町